

研究滞在記

氏名 松尾貞茂

所属 材料機能化学研究系 ナノスピントロニクス 博士後期課程 1年



私は今回、化研若手海外派遣事業の支援を得て、中国北京にある Chinese Academy of Science (CAS) の Ke He 教授のグループにて短期研修渡航を行いました。CAS は北京の中でも計画的に学術、研究機関を集中的に設置している区画にあり、北京大学や精華大学をはじめ、囲碁や武道、スポーツの英才教育をする数々の機関に囲まれています。私は博士後期課程より、Ke He 教授のグループから提供していただいた薄膜を用いて実験を行っています。今回の滞在中に実際にどのように薄膜を作製し評価しているのかを学ばせていただきました。加えて、中国での滞在先で知り合った方に CAS の他の研究グループや近郊の精華大学の世界的に著名な研究グループを紹介、見学させていただきました。滞在先の研究グループをはじめとして、私たちと同じ研究対象に興味を持っていても、異なる研究手法でのアプローチを行っているグループがほとんどであり、このような異なる研究手法、見方、考え方を持つ方々と議論することで、自分の研究に対する考え方や理解が深まったと思います。出発前は単身海外に渡航するということが初めてだったので非常に不安でしたが、帰ってきてみて、異なる文化の中で議論、学習した経験は自分を成長させる得難いものであったと感じています。最後にこのような経験をさせていただいたことに感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。



渡航先で主に使用されていた研究装置。分子エピタキシー法で薄膜を成長させ *in situ* で測定をおこなえる。